

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月8日

事業所名 アバンツアーレスポーツやまがた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・指導訓練室等スペース以外で子ども達が過ごす場合指導員を必ず1~2人付ける ・サッカー場がメインの活動場所	・事業所内だと狭く感じることもある。 ・屋外の活動スペースを有効に活用していく。
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	・階段	・歩行が困難な利用者には必ず指導員がついて補助している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・みんな意見を言える場がある。週間、月間会議を開催している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		・今後の検討課題として考えていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・月1回、全従業員対象のもの	・ケースカンファレンス研修、子ども理解研修を行った。今後も継続していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・アセスメントシート活用しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・サッカープログラムの工夫	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	・子どもに選択できるように	・子どもが選択しながら活動できるように工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・子どもに選択できるように	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	・送迎の確認と合わせて	・送迎の確認と合わせて、支援プログラムも確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	0	・児発管が参加	・児発管が参加し、指導員と情報共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6	0	・月の予定表にて保護 者様と確認しています。 当日の変更は、電話や メールで対応していま す。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	2	・保護者を通じて情報共 有を受けている。	・現在の人員体制では、医ケア児の受入れは難しいので、相 談支援専門員と共有しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	2	・新入生については相談 支援員を通じて情報収 集する	・相談支援専門員だけでなく、学校とも連携を強化していく。 相談支援専門員を通じて関わられるようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	5	1	・R6.3月卒業する利用者 についてはそのように対 応する	・保護者、相談支援専門員と連携して対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	・公園での他児との関り ・公園に行った際に野球 や砂場あそびで交流等 はたまにある。	・子どもの特性を考慮しながら、できる交流を進めていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	6	0		・案内があるものには参加し、協力していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	0	・送迎の際などを通じて 情報共有をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	3	・面談時に必要に応じて	・個別支援計画の更新時に
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5	1	・面談時に	・6か月に一度の面談時に、子育てについての悩みや相談に 対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	5	・組織化していない	・組織化したものはないが、「親子行事」等を通して、交流の 機会ができています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	0	・月1回発行	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	・同意書に基づいて	・個人情報使用同意書にて同意を得るようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・聴覚障害…文字で	・障がいの特性に応じて、工夫してコミュニケーションをとるよ うにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	5	・地域住民はまだ。	・今後の課題として検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	・保護者にはまだ	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年2回実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・月1回、所内会議で行っている	